

極秘

大臣秘書官

アジア局長

宇山審議官

人見秘書官 6/F.6

北東アジア課

金鍾洙 韓国中央情報部長
より 池田 総理との 会見希望
申入りの件

27. 2. 5
北東アジア課

5日 午後 韓国代表部 全宗昇書記官より

本件に関し、つぎのとおり 電話連絡越した。

金情報部長は 東南ア 各国訪問の 帰
途 2月20日 東京に 立ち寄り 予定のとおり、

21日(水) 池田 総理と 会見の 希望を

有らぬことにつき、 外務省においし 御翰

外務省

旅敵のこい。(時間と總理の柳都合の
ふい時間と結構とあり。裴義煥大使と
崔英沢参事官が同行する由。) 金情報
部長 滞日中の予定は今のこい) 總理
との会見以外とはなく。22日か23日と
は帰国する予定。

極秘
未

大臣秘書官

事務次官

アジア局長

宇山審議官

北東アジア課

池田総理・金鐘沖部長
合見予定と周知件

37. 2. 7
北東アジア課

7日朝 人見秘書官より

池田総理と金鐘沖中央情報部長からの
合見希望を伝へて答へ、「堂々と合見」
と述べたらしい旨。

また、合見日時、場所については、2月
21日(水)午前10時、総理官邸 ~~とあり~~

回覧番号
臺北 0352

37. 2. 7
局長印

ニヒロシニある旨 電話連絡があつた。

この旨 驛国代表部 全米早書記官に

通報す。

秘

伊関局長、崔参事官会談要旨

37.2.20

北東アジア課

本20日夕方、韓国代表部崔参事官は伊関局長を来訪、明日の金鐘泌・池田会談において金部長の話す予定の内容を次のとおり内報した。

1. 今度、東南アジア諸国を歴訪し、各国首脳と会見して色々話し合ったので、その内容を総理に伝え、今後東南アジアの問題について日韓両国が緊密に協力して行きたい旨述べる。
2. 韓国側としては、近く行なわれる政治折衝は、お互に相手方の立場を理解し誠意をもつて、是非成功させたいという強い気持を持っていることを総理に伝え、更に、可及的速やかに国交正常化を実現したいので、日本側に

も宜しくお願ひしたい旨述べる。

なお、金・池田会談後の新聞発表振りを一
応別紙のとおりとすることに意見一致した。

新聞発表（案）

1. 近く開催される日韓間の政治折衝においては、相互に相手方の立場を理解し、誠意をもつて、これを成功させるよう努力し、可及的速やかに日韓国交正常化を実現させるように努めることに意見の一致を見た。
2. 金部長から、今般歴訪した各国の情勢につき池田総理に伝え、その話を中心として東南アジア情勢について意見を交換した。



池田総理と金鐘泌部長との
会談に関して

37. 2. 20.

1. (1) 今般金鐘泌部長が池田総理を訪問してと
くに総理にお話することを望んでいる点は、
去る1月17日付をもつて行なわれた杉・
斐両首席代表申合わせ事項（兩國首脳部の
了承を経て同25日イニシアル）の第1項、
すなわち政治折衝は、衆議院で予算審議が
終了した直後開始する（その時期は遅くとも
3月上旬と予定される）という点を確認
することにあるものと外務省においては判
断している。
- (2) 某方面から、韓国側においては政治折衝
は4月中旬頃まで延びることがあつてもよ
いと考えている旨の情報が総理のお耳に入

つている態であるが、外務省としてはかね
て在京韓国代表部と折衝を重ねてきたとこ
ろにかんがみ、上記のようなことは絶対に
ありえないものと判断している。この点は
極めて重要な問題であるので、今回の金部
長との会談においてはつきりお確かめ願ひ
たい。

2 2月7日付「日韓請求権交渉の今後の進め方について」（別添）において申し述べたとおり、韓国の日韓請求権処理にあたり、厳格な意味における「請求権」の解決ということで話しを進めれば、種々困難な問題が生ずる。この問題は今後日韓会談の事務レベルで専門家の間に協定の字句の問題としてさらに検討を進めなければならないが、請求権問題解決のための協定中には出来れば「請求権」という字句を避けたい旨適宜御説明願いたい。

なお、「金額」の問題は、政治折衝の中心をなすものであり、今次会談においてふれるべき問題ではなく、また、先方としても恐らくふれてくることはないと思われる。

おつて、別添「日韓請求権交渉の今後の進

め方について、人のけずをわち南北鮮の区別
の問題は、韓国側が極めて神経質になつてい
る点なので、公式の会談においては触れない
ことといたしたい。

3. 請求権と漁業とは同時に解決されるべき問題
である点についてもお話し願いたい。

金鍾泌一行の滞日日程

2月19日(月)

11.00 p.m. KLMにてマニラより到着

20日(火) 予定なし

21日(水)

午前 池田総理と会談

2.00 p.m. 内外記者会見(帝国ホテル)

22日(木)

9.00 a.m. 代表部訪問

11.00 a.m. 韓国学院(新宿若松町)訪問

昼食 在京有力韓国人招待

1.00 p.m. 在日韓国人経済人総合
団体結成大会(芝公会
堂)出席

夕食 小坂外務大臣招待

23日(金)

午前 大阪へ向う

大阪にて 有力韓国人と会談およ
び産業施設視察

夜 帰京

2月24日(土)

羽田発ソウルへ向う

○ 一行氏名

中央情報部長	金	鍾	泌
中央情報部第二局長	石	正	善
国防次官補	金	点	坤
	(陸軍少将)		
外務部情報局長	鄭	奎	燮
国防部典礼課長	李	沢	根

他3名

- 宿舎は全員帝国ホテル、また一行の一部は
金部長より先に帰国する見込み。

金鍾泌一行の滞日日程（改訂版）

昭37.2.20午前現在

- 2月19日(月) 11:00 P.M K L Mにてマニラより到着
- 20日(火) 9:00 A.M 韓国代表部訪問
- 10:00 A.M 韓国学院(新宿若松町)訪問
- 11:00 A.M 民団中央総本部訪問
- 午後 ホテルで休息
- 21日(水) 10:00 A.M 池田総理と会談
- 2:00 P.M 内外記者会見(帝国ホテル)
- 4:00 P.M 主要外国記者と懇談(")
- 22日(木) 午前 ホテルで休息
- 2:00 P.M 在日韓国人商工連合会結成大会出席(芝公会堂)
- 5:00 P.M 有力在日韓国人有志と懇談(帝国ホテル) 終つてパーティに移る。
- 6:30 P.M 小坂外務大臣招待
- 23日(金) 7:10 A.M 羽田発大阪へ
- 8:20 A.M 伊丹着

23日(金) 10:00 }
 { } ヒノデヤマ工場見学
 12:30 }
 2:00 P.M }
 { } ミサキ工場見学
 3:00 P.M }
 3:30 P.M } 坂本紡織見学
 { }
 4:10 P.M }
 5:30 P.M } 夕食会(つるや)
 { }
 7:30 P.M }
 8:50 P.M 伊丹発
 10:15 P.M 羽田着

24日(土) 8:30 A.M CAT機にて羽田発ソウル
 に向う。

極秘
まで

27:20 20部

アジア局長 5

韓国中央情報

北東アジア課長

池田総理 全権代表部長会談要旨

27. 2. 21

アジア局

本21日 午前10時より1時間半にわたり

総理官邸において行なわれ、本件会談の

大平官房長官

概要次のとおり。(陪席者、日本側、杉

首席代表 伊藤アジア局長、伊藤秘書官、

井矢

韓国側、石正善情報部第二局長、襄大使、

佐々木()

金部長 朴議長より くれぐれよらしくとのこと。

池田総理 朴議長とお会いして 非常によかったです。

と思っている。 同議長は 米国内でも評判が

いいようだ。 自分も 以前から 韓国問題

に非常に関心をもっている。 昨年訪米

の時、ケネディ大統領に 文をもち

韓国に関心をもちたいと 話した。

その時 ケネディ から、フルブライト 議員や

マンスフィールド 議員にも 文をもち (池田)

の考えを 話しておいて くれといわれたが、

その時間が たかづつなので、先日 ロバート・ケネ

アムが来日した時 韓国問題にふれ

両議員にも ^{白粉の} 考えを伝えてくれと

話したところ、レポートケネディは、朴議長

の訪米後 米韓関係がよくなり、両議

員の考え方も変わってきているから、改めて

伝える必要はないと思うと答えていた。

金 朴議長の訪米は成功だったかと、

お褒めには したことがあった。お褒めは、

はいね 米側は とおり一歩の経過を

考えていたので、自分(金)は大いに

おいて、朴議長の滞米スケジュールを

おかげで変更させ、結局いい結果に終わった

わけである。ところで、今日お目にかか

って何かおみやげは~~ある~~^{ない}か。

池田、あなたの方から置きみやげはない

のか。

金 向分も最近、日本の事情をよくま

ている。その結論は、~~おび~~後理の決意

如何にかかっているという感じがする。

池田、従来、日本内部にも、おれがやって

いるのだというような情報を流す人

間もあつたが、最近にはふつうな人間

がへり、日韓問題が政府対政府という

ような形で軌道にのってきたと思つてゐる。

内容としては大いにやるつもりだが、お互

いに国内事情があり、日本ではガリボア

問題、夕ヶ特別内閣問題、日韓問題、

春季賃上げ斗争等をからませて一部の

者が騒ごうとしている。そこで、なる

べく国内世論を刺激しないように進

めて行きたいと思つてゐる。

金 今度東南アジアを廻り、為政者は

よくやってゐる。国民がこれを理解せね

為政者と国民の間にギャップがあるように

見受けられた。その真日本では青年層

のよくものがわかっていると思う。

池田 V 一國が案えるものは教育である。

教育が徹底すれば上下のギャップも

なくなると思う。

金 ところで、政治折衝は予定どおり

開けるものと期待しているが、どうか。

池田 政治折衝という言葉は、理屈ぬきで

ものをきめるような悪いひびきがある。

いろいろ難問とからむ真実があるが、了月

には柳井 誰合にに 応ずる用意がある

そのために誰が 来られるのか。 自分は

政治折衝の下にしろえは 東京でやった

方が いいのでは ないかと 思う。

金 事務折衝では どちらか 分からないから、

責任者の間で

大衆的立場から 立った 政治折衝 を する

ことにしたい。 日本国内に 難問がある

ことはわかるが、 だからといって 待つて

い柳井 次々に 難問が 出てくるのでは

ないか。

池田 貴国には 議会が ないが 日本には

関係があるという相違がある。政治的に
 きめたとはいふ事になると、その根拠を
 明らかにせよといわれる。ところが、
 実際問題としては、私教書類のた
 めのものが多々ある。(個人の手記といふ
 ことは、郵便貯金はある程度書類が
 足りるが、徴用者務者は生きて
 いるのか、死んでいるのかもわかりず、また、
 韓国側はうけとった金を本人に渡す
 のかといふこともはっきりせず、さらに、国給
 について平和条約発効後をどうするか

~~という問題もあり~~ 昨年11月の世用

朴金談で 請求権は 法的根拠のある

ものに限るということか、確認されたもの

の 実際問題となると、何が法的

根拠があるかを定めるのは 極めて難しい。

金 自国は 東南アジアを廻って、現在の国

際情勢下では 一国だけでは 立って行

けないという ことを しみじみと感じた。

米国が 巨額な 金を 各国に つかっている

のも、そのためであり、アジアでは 日本が

米国と同じような立場にあると思う。日本

国民はさういふ事はわかるのではない

さうか。後で日韓問題については

いろいろ細かい事はいわなくて長い

目で韓国^の将来を考へ、大まな立場

から考へてほしい。この意味で閣下

が決心^{する}事を切望する。

池田、それにはスタッフがある。日本には

世界観を異にする人達があり、これら

の人を力で押しまくるわけにはいかない

ので、なるべく^皆 ~~それ~~を納得させてやって

行きたい。

金 ↓ 民主主義のルールに 従うの はず といふことだ

か、結局 社会党 其他は [redacted]

[redacted] 考えを 変え ない だろう。

池田 社会党 其他の 人達も 考えを 変

える だけでは なく、 それらの 人々が、 あきら

めるといふか、 無答に 反対を したく なる

ように したいと 考えて いるので ある。

金 あきらめを までと いう けれど、 現在の

緊迫した 国際情勢 を 思えば、 とう長

待て ないの ではないか。 象徴式 ではなく

信長式に やって ほしい。

池田、 但合はやはり 象康式がよいと思う。

全、 東南アジアをみると、一國の経済の復興すれば国民の生活水準も上り、

共産侵略にたえられぬようにならうが、

これには時間がかかり、その間共産主義は待ってゐないだらうといふことを感じ

に次第である。

池田、 「鳴くまで待つ」といふのは無爲に手を

つかねてゐるといふことではない。早く鳴く

ように手をうつことを考へてゐるのである。

但合は ^{昭和} 22年に ~~昭和~~ 共和党が、民主党

に大勝した直後、ニューヨークに行き、財務

部長官を也つにユナイテッドに会ったが、

その時ユナイテッドは「選挙に勝ち、新

しい共和党員がたふさく出てきたが、

彼らはどうも斗争心が強すぎるので

はないかと心配である」と話していた。

これをきいて日本に帰ったら、日本では

ちやうど警服法問題が起きていた。

そこで自分は岸総理(当時)に対し

決して無理おしをしないようにと話した。

自分は寛容と忍耐とが大事だと考へて

いる。

金 政治折衝の時期はいつになるのか。

池田 早い方がよいと思うが、会談をせ

る情勢を作つた上でなくてはならない。

しかし会談を延ばすつもりではない。

無理のない形でやりたいと思うので、やり

方の問題だと思う。そこで東京で

杉・裏両首席代表の間で行なうソウルに
(S=222)

大物が行くのではない。やり方はどうかと

考えている。

金 杉・裏申命書によれば、3月10日までに

政治抑鬱を行なうことになっていると了解

している。もしこれが 亦る亦る 延びるよう

では困る

池田 予算が 衆議院を 通過すれば

国会審議は やまを 越すだろうから

議を始められる。たゞ、それは 3月10日

頃には 始めるという 意味で、その時 結論

を 出すというのでは無い。さて 国会は

どういふ 形で行なうことになっているのか。

省参事官、政界の大物が 誰か 事務当局を

連れてソウルに来てもらうという事には

なっている。

21 池田 ⁹ V とうしてソウルにやる必要があるのか。

金 是非ソウルというわけでもない。要するに

おおらかな気持ちでやるつもりである。後

って、形式、方法にはこだわらないつもり

である。

大平長官 韓国としてはソウルの方がよいという

お考えか。

金 そのとおりである。日本から大物が

来るというとして、韓国国民に日本側には

誠意があると思わせる必要があるわけでは

ある。

大平 についてはその方向で考えよう。

会 朴議長はこの政治折衝に非常に

大きな望みをかけている。

崔 両首席代表の申合わせは朴議長に

も見せ、議長もよく読んで知っておら

れる。

池田 個々が考えたことは、今次全体

をうまくまとめるためには、どうやら、

一番いいかという事である。

会 両首席代表申合わせにある政治折衝を

始めるといふことを再確認していただければ

池田 その長はよろしい。但し、大物が

ソウウチに行くことは問題ではないかと

思う。杉・藤 両首席代表の間で政

治折衝がやれないのか。そして、どう

少い問題を煮詰めた上で大物が

出て行くようにしたい。現在の事務

レベルの折衝は平行線を辿っており、

事務的である。そこで両首席代表が

政治的に折衝してもらいたいと考える

おけである。

金 閣下の決心如何で何でもできる筈に
 と思ふ。この際肚をきめていただけはないか。

池田 できることはできるが国内の反
 応を考へていふわけである。

金 日本の新聞論調は最近 90 度位
 変り、非常に会談がやりやすくなつて
 いるのではないか。時間を延ばせば
 次々に懸拳とか何か起ってくるので
 はないか。

池田 政治折衝に入ることはよい。しかし
 そのやり方が問題だとはいへない。

金 地り方が確かに問題である。行く

人が大物ならば政治折衝になり、然

らなければ事務折衝になる。

杉代表 総理のいわれるのはもう少し

地ならしをしてからという意味である。

金 地ならしといつても結局永かけ論

になるばかりだ。

池田 勿論大きな問題もやらせるが、例えど、

平和条約発効後の恩給をどうするかとか

徴用者に対する補償金を本人に渡すか

どうかというふうな事務的問題もある。なお

請求権だけでなく、職業や法的地位

もいっしょにやることにしたい。

金、²⁰その臭は結構である。

池田、自分としては、当初は東京がよいと

考える。そして問題を請求権だけに

限らなくてやりたいと思ふ。

韓国側としては

金、請求権という名称には必要のないから

なる。

池田、例之は、日韓両国民が今後仲よく

なるための金として払うというのはいかがか。

金、それは韓国は(民は納得と赤い) ~~納得~~ (a. ではないかと

思う。端的にいえば、過去の清算として

返還するといふ言ひは言ひ方ならぬよいの

だから。

世田、さうすると日本が韓国に置いて

また財産をどうするかという問題が起る

いおれにせよ。日本が考へてゐるのは、

現在、事務折衝とは異なるまゝあるため

の折衝をやるかといふことであり、これを

政治折衝とよべはよいのではなからうか。

勿論最後にはいおける大物同士は

政治折衝をやる必要もあるか。

金、 いつまでにはまとめるおつもりか。

池田、 早い方がいいが、結局参議院議員

選挙前位だらうか。

菅、 申合わせには「5月中旬にまとめるよう

努力する」となっている。

金、 今度政治折衝を始めれば日本側は

請求権の枠をどうするか。

池田、 枠をどうするかは問題がある。

すなわち、各項目毎に払うか払わないか

を逐次片付けて行くのがよからう。

菅大使、 杉さんと自合として政治折衝をして

そういう問題を片づけることはできない。

指令は ^指 指令という形で動いているのであり、

そういう問題は、自分に指令を出す人が
か、やらなければ片づかない。

金 日本が東南アジア各国に賠償を払

た際には、いろいろ計算して金額を

出したのではない筈だ。あれあれは

今度の政治折衝において日本側から

枠を示してやらうものと思っていた。枠

さえできれば 節目は早く来ると思う。

日本側には本意にまよめる気があるならば

これ後のことは必要だと思ふ。この際はとう

しても 枠を示してもらうよう お願ひする。

池田 今更らば 大物が去かけた 話がまた

また面白いといふことになる、あとが續か

なくなるおそれがある。それ、杉さん

は大物である。財界では 最高地位の

人だし、政界にも大きな力がある。

金 韓国側が大物に来てほしいといふのは

大物がくれれば 枠がきまるという意味に

おいて いらるのである。

池田 最後には そうするつもりである。

金 V 最後は 池田総理と 朴議長との間で

20

おきめ願ってほしいと考えている。

杉 それらに至る過程として 荒いなしを

やううというのか、総理の考えだと思う。

池田 裴首席代表に 相当の指令を出して

もらえないか。 おか方は 杉さんで結構

だと思う。 もし 杉、裴間でまとまらなけ

れば、韓国側から 直接自命に対し 韓国

の希望する金額を示してほしい。 そうしたら

自命が考えよう。

金 韓国側として 腹がきまっていたらわけて

はない。後って いえはいえるのだが、それ

を言う相手が誰であるかが問題である。

~~それから~~ (日本側で 何れ枠がまわっている

段階では 韓国側としても 言える段階

ではない。自分は今後は大詰めを

きていると思っている。そういう前提の

下には、両国の外務大臣が往来して交渉

するのはどうだろうか。小坂大臣をソウル

に参越していただけないか。

池田 小坂大臣は国会の関係で 4月10日頃

までは 出かけられない。韓国の方から誰か

東京に参越してくれないか。

金 今の時は日本側から枠を示していいか
けるか。

池田 よろしい。自分の肚はまわっている。

金 それでは次のように了解してよろしいか

(1) 3月10日に政治折衝を始める。

(2) この政治折衝は現在の両首席代表
以外の者で行なう。

(3) この折衝では請求権の枠並みに
その他の問題をも取り上げる。

(4) 場所は東京とする。

27

(5) 今後 5月末までに毎館させるよう努力

する

池田 結構です。自分も交渉を促すまで

あるつもりである。

複

Na/2 の

浄書印刷分

極秘

20部内
8号

池田総理、金鍾泌韓国中央情報
部長会談要旨

37.2.2
アジア局

本 2 / 日午前 / 10 時より / 時間半にわたり
総理官邸において行なわれた本国会談の概要次
のとおり。(陪席者、日本側、大平官房長官、
杉首席代表、伊関アジア局長、伊藤秘書官、韓
国側、石正善中央情報部第二局長、裴大使、崔
参事官)

金部長 朴議長よりくれぐれもよろしくとのこ
とです。

池田総理 朴議長とお会いして非常によかつた
と思つている。同議長は米国でも評判がいい
ようだ。自分は以前から韓国問題に非常な関
心をもつている。昨年訪米の時も、ケネディ
大統領に対してもつと韓国に関心をもつよう
に話した。その時ケネディから、フルブラ
イト議員やマンズフィールド議員にもあなた(池
田)の考えを話しておいてくれといわれたが、

その時間がなかつたので、先日ロバート・ケネディが来日した時韓国問題にふれ、両議員にも自分の考えを伝えてくれと話したところ、ロバート・ケネディは、朴議長の訪米後米韓関係がよくなり、両議員の考え方も変つてきているから、改めて伝える必要はないと思うと答えていた。

金 朴議長の訪米は成功だつたが、出発前にはごたごたがあつた。すなわち、はじめ米側はとおり一べんの待遇を考えていたので、自分（金）は大いにおこつて、朴議長の滞米スケジュールをすつかり変えさせ、結局いい結果に終つたわけである。ところで、今日お目にかかつて何かおみやげがいただけますか。

池田 あなたの方から置きみやげはないのか。

金 自分も最近日本の事情をよくきいている。この結論は、すべて総理の決意如何にかかっているという感じがする。

池田 従来、日本内部にも、おれがやつている

のだというような情報を流す人間もあつたが、最近はこのような人間がへり、日韓問題が政府対政府というような形で軌道にのつてきたと思つている。自分としては大いにやるつもりだが、お互いに国内事情があり、日本では、ガリオア問題、タイ特別円問題、日韓問題、春季賃上げ闘争等をからませて一部の者が騒ごうとしている。そこで、なるべく国内世論を刺激しないように進めて行きたいと思つている。

金 今度東南アジアを廻り、為政者はよくやつても国民がこれを理解せず、為政者と国民の間にギャップがあるように見うけられた。その点日本では青年層もよくものがわかつていると思う。

池田 一國が栄えるもとは教育である。教育が徹底すれば上下のギャップもなくなると思う。

金 ところで、政治折衝は予定どおり開けるものと期待しているが、どうか。

池田 政治折衝という言葉は、理屈ぬきでものをきめるような悪いひびきがある。

いろいろ難問とからむ点もあるが、3月になれば話合いに応ずる用意がある。そのために誰が来られるのか。自分は政治折衝の下ごしらえは東京でやつた方がいいのではないかと思う。

金 事務折衝ではらちがあかないから、責任者の間で大乗的立場に立つた政治折衝をやりたい。日本国内に難問があることはわかるが、だからといつて待つていれば次々に難問が出てくるのではないか。

池田 貴国には議会がないが日本には国会があるという相違がある。政治的にきめたということになると、その根拠を明らかにせよとい

われる。ところが、実際問題としては、証拠書類のないものが多々ある。~~自分のきいたところでは、郵便貯金はある程度書類がそろそろうだが、徴用労務者は生きているのか死んでいるのかもわからずまた、韓国側はうけとった金を本人に渡すのかどうかもはつきりせず、さらに、恩給について平和条約発効後をどうするかという問題もあり、~~昨年11月の池田・朴会談で請求権は法的根拠のあるものに限るということが確認されたものの、実際問題となると、何が法的根拠があるかをきめるのは極めて難しい。

金 自分は東南アジアを廻つて、現在の国際情勢下では一国だけでは立つて行けないということをしみじみと感じた。米国が巨額な金を各国につかつているのもそのためであり、アジアでは日本が米国と同じような立場にあると思う。日本国民はこういう点はわかるのではなからうか。従つて日韓問題についてもい

ちいち細かいことはいわないで長い目で韓国の将来を考え、大きな立場から考慮してほしい。この意味で閣下が決心されることを切望する。

池田 それにはステップがある。日本には世界線を異にする人達がおおり、これらの人を力でおしまくるわけにはいかないので、なるべく皆を納得させてやっけて行きたい。

金 民主主義のルールに従うのはよいことだが、結局社会党その他は [REDACTED] 考えを変えないだろう。

池田 社会党その他の人達の考えを変えるのではなく、それらの人々があきらめるといふか、無茶な反対をしなくなるようにしたいと考えているのである。

金 あきらめるといわれるが、現在の緊迫した国際情勢を思えば、そう長く待てないのではないか。家康式でなく信長式にやつてほしい。

池田 自分はやはり家康式がよいと思う。

金 東南アジアをあるいて、一国の経済が復興すれば国民の生活水準も上り、共産侵略にたえられるようになるが、これには時間がかかり、その間共産主義は待つていないうことを感じた次第である。

池田 「鳴くまで待つ」というのは無為に手をつかねているということではない。早く鳴く

ように手をうつことを考えているのである。自分は昭和32年に共和党が民主党に大勝した直後、ニューヨークに行き、財務部長官をやつたシュナイダーに会つたが、その時シュナイダーは「選挙に勝ち、新しい共和黨員がたくさん出てきたが、彼らはどうも闘争心が強すぎるのではないかと心配である」と話していた。これをきいて日本に帰つたら、日本ではちやうど警職法問題が起きていた。そこで自分は岸総理（当時）に対し、決して無理おしをしないようにと話した。自分は寛容と忍耐とが大事だと考えている。

金 政治折衝の時期はいつになるのか。

池田 早い方がよいと思うが、会談をやれる情勢を作つた上でなくてはならない。しかし会談を延ばすつもりではない。無理のない形でやりたいと思うので、やり方が問題だと思う。そこで東京で杉、齋両首席代表の間で行なうこととし、ソウルに大物が行くのではないや

り方はどうかと考えている。

金 杉、裏申合わせによれば3月10日までに政治折衝を行なうことになつていと了解している。もしこれがずるずる延びるようでは困る。

池田 予算が衆議院を通過すれば国会審議はやまを越すだろうから、話を始められる。ただそれは3月10日頃に始めるという意味で、その時結論をだすというのではない。さて、会談はどのような形でやることになつてゐるのか。

崔参事官 政界の大物が誰か事務当局をつれてソウルに来てもらうということになつてゐる。

池田 どうしてもソウルでやる必要があるのか。

金 是非ソウルというわけでもない。要するに
おおらかな気持でやるつもりである。従つて、
形式、方法にはこだわらないつもりである。

大平長官 韓国としてはソウルの方がよいとい
うお考えか。

金 そのとおりである。日本から大物が来ると
いうことで、韓国国民に日本側に誠意がある
と思わせる必要があるわけである。

大平 ではその方向で考えよう。

金 朴議長はこの政治折衝に非常に大きな望み
をかけている。

崔 両首席代表の申合わせは朴議長にも見せ、
議長もよく読んで知つておられる。

池田 自分が考えていることは会談全体をうま
くまとめるためには、どうやつたら一番いい
かということである。

金 両首席代表申合わせにある政治折衝を始め
るということを再確認していただけるか。

池田 その点はよろしい。ただし、大物がソウ

ルに行くことは問題ではないかと思う。杉、
斐両首席代表の間で政治折衝がやれないのか。
そして、もう少し問題を煮詰めた上で大物が
出て行くようにしたい。現在の事務レベルの
折衝は平行線を辿っており、事務的すぎる。
そこで両首席代表が政治的に折衝してもらい
たいと考えるわけである。

金 閣下の決心如何で何でもできるはずだと思
う。この際肚をきめていただけでないか。

池田 できることはできるが、国内の反応を考
えているわけである。

金 日本の新聞論調は最近90度位変り、非常
に会談がやりやすくなっているのではないか。
時間を延ばせば次々に選挙とか何かが起つて
くるのではないか。

池田 政治折衝に入ることはよい。しかしその
やり方が問題だといっているのだ。

金 やり方が確かに問題である。行く人が大物
ならば政治折衝になり、然らざれば事務折衝
になる。

杉代表 総理のいわれるのはもう少し地ならし
をしてからという意味である。

金 地ならしといつても結局水かけ論になるば
かりだ。

池田 もち論大きな問題もやらせるが、たとえ
ば、平和条約発効後の恩給をどうするかとか、
徴用労務者への補償金を本人に渡すかどうか
というような事務的問題もある。なお、請求
権だけでなく、漁業や法的地位もいつしよに
やることにしたい。

金 その点は結構である。

池田 自分としては、当初は東京がよいと考える。そして問題を請求権だけに限らないでやりたいと思う。

金 韓国側としては、請求権という名称には必ずしもこだわらない。

池田 例えば、日韓両国民が今後仲よくなるための金として払うというのはどうか。

金 それでは韓国民は納得しないのではないかと思う。端的にいえば、過去の清算として返還するというふうな言い方ならばよいのだが。

池田 そうなると日本が韓国に置いてきた財産をどうするかという問題が起る。いずれにせよ、自分が考えているのは、現在の事務折衝とは異なるまとめるための折衝をやろうということであり、これを政治折衝とよべばよいのではなからうか。勿論最後にはいわゆる大物同士の政治折衝をやる必要もあるだろうが。

金 いつまでにまとめるおつもりか。

池田 早い方がよいが、結局参議院議員選挙前位だろうか。

崔 申し合わせには「5月中にまとめるよう努力する」となっている。

金 今度政治折衝を始めれば日本側は請求権の枠を出すか。

池田 枠を出す前にきめる問題がある。すなわち、各項目毎に払うか払わないかを逐次片づけて行くのがよからう。

裴大使 杉さんと自分とで政治折衝をしても、そういう問題を片づけることはできない。自分は指令をうけて動いているのであり、そういう問題は、自分に指令を出す人がやらなければ片づかない。

金 日本が東南アジア各国に賠償を払った時には、いちいち計算して金額を出したのではない筈だ。われわれは今度の政治折衝において日本側から枠を示してもらうものと思っていた。枠さえできれば細目は早くきまると思う。

日本側に本当にまとめる気があるならば、これ位のことには必要だと思ふ。この際はどうしても枠を示してもらふようお願いする。

池田 今直ちに大物が出かけて話がまとまらないということになると、あとが続かなくなるおそれがある。それに杉さんは大物である。財界では最高地位の人だし、政界にも大きな力がある。

金 韓国側が大物に来てほしいというのは、大物がくれば枠がきまるという意味においていつているのである。

池田 最後にはそうするつもりである。

金 最後は池田総理と朴議長との間でおきめ願
つてはと考えている。

杉 それらに至る過程として荒ごなしをやろう
というのが、総理の考えだと思う。

池田 襲首席代表に相当の指令を出してもらえ
ないか。わが方は杉さんで結構だと思ふ。も
し杉・襲間でまとまらなければ、韓国側から
直接自分に対し韓国の希望する金額を示して
ほしい。そうしたら 自分が考えよう。

金 韓国側としても肚がきまつていないわけ
ではない。従つて、いえばいえるのだが、それ
を言う相手が誰であるかが問題である。それ
から、日本側で何れも枠がきまつていない段階
では韓国側としても言える段階ではない。自
分は会談は大詰めにきていると思つている。
そういう前提の下に、両国の外務大臣が往来
して交渉するのはどうだろうか。小坂大臣を
ソウルに寄越していただけないか。

池田 小坂大臣は国会の関係で4月10日頃ま
では出かけられない。韓国の方から誰か東京

に寄越してくれないか。

金 その時は日本側から枠を示していただけるか。

池田 よろしい。自分の肚はきまつている。

金 それでは次のように了解してよろしいか。

- (1) 3月10日に政治折衝を始める。
- (2) この政治折衝は現在の両首席代表以外の者で行なう。
- (3) この折衝では請求権の枠並びにその他の問題を取り上げる。
- (4) 場所は東京とする。
- (5) 会談を5月末までに妥結させるよう努力する。

池田 結構です。自分は交渉を必ずまとめるつもりである。

極秘

2007. 夏. 古古

大臣

アジア局長

了

宇山審議官

北東アジア課

金鐘汝 中央情報部長 離日直前の
内話に関する件

37. 2. 24

北東アジア課

金鐘汝 部長は、2月24日 午前10時半

NWA機でソウル向け出発したの、空港

に見送りに赴いた前田に対し、飛行機

に乗り込む直前、特に次のように内話

した。(この話は 我大使、崔参事官その

他 余人を ~~聞~~ 遠避け、耳打ちにて行は

回覧番号

外務省

亜北--0545

わたたものであり、途中 金部長は石正
善三長と1、2 ~~機~~ 私語したに'けであつた。)

1. 池田總理と話し合つたところを持
ち帰つて朴議長と相談しなければ'

ならず、その結果 どうなるかはわから

ないか、自命の感いとしては、朴

議長はやはり政治折衝をまず'ソウ

ルで'やりたい、ソウルで'やつた方が

良いというようにみるので'はないか

と思われろ。それは、深い理由の

あるに'はないか、韓国總として

従来の経緯からして、まずソウルでやる

方がよいと考へるようには、^(の2は)~~裁断~~
ないかというのが、自今^の癡觸である。
~~あり。~~

自今^は、政治折衝はいずれにせよ
一度で完結するものとは考へておらず

まず日本側からソウルにやっ来て
もらつて、政治折衝~~の~~の進展に好ま
しい空気を作るのが肝要であり、それ

から今度は韓国側から誰かが東京
にやっ来てというふうにして進めて
行くのが望ましいと考へる。

2. 小坂外務大臣が韓国に来られるよう

になれば、必ず大歓迎されるもの

と信ずる。自分の方は、そうならう、

そしてよい結果が出るようにお膳立て

するに努めるから、日本側におい

ても、その含みで事を進めるよう

していただく。

国会の忙しいことはわかるが、僅

か2日位の期間 ~~でも~~でもはすせない

というのは、韓国側として釣得レか

たいと23である。

3. 日本に来て驚いたのは、われわれ
の政権が来年の夏に民政移管をした
後にどのような政権になるかわから
ないという見方^{から}、われわれとの
関係を深めることを躊躇する向きが
相当多^い~~い~~な点である。2
の考之方は、無理解も甚だしい。
政権の主体性が確立する見通しが
立たないままわれわれが政権を譲
るような愚を犯すことは絶対にない。
トルコ等の例^を徴するまでもなく、

早期

民政移管というだけの形式主義にと

りわれわれの結果がまた政^情の不安定を

齎らすとは明らかである。われわれ

は、安心して政治権力を引き渡せる

ような地盤^を国内に確立するた

に今必死の努力をしようとするのである。

われわれとしては、われわれ^が

~~仕事~~をこ^ろていさ同に日韓の正常化が

できたというだけで革命をやつた軍

閥があるとい^うもののた^りという位の

意気込みで臨んでい^る。日本側^が

これを十分に理解してほしい。

極 秘

部内 號

金鐘源中央情報部長離日直前
の内話に関する件

昭和三十二年
北東アジア課

金鐘源部長は、2月24日午前10時半NWA
機でソウル向け出発したが、空港に見送りに赴
いた池田に対し、飛行機に乗りとむ直前、特に
次のように内話した。(この内話は^表大使、機務
事務その他余人を遠避け、耳打ちにて行なわれ
たものであり、途中金部長は石正特局長と^{一ニ}~~表~~
私話しただけであつた。)

人 池田總理と話し合つたところを持ち帰つて
朴議長と相談しなければならず、その結果ど
うなるかはわからないが、自分の感じとして
は、朴議長はやはり設備折衝をまずソウルで
やりたい、ソウルでやつた方がよいというよ

まになるのではないかと思われる。それは、
無い理由のあることではないが、韓国側とし
ては従来の態度からして、まずソウルでやる
方がよいと考えるようになるのではないかとい
うのが自分の感想である。

自分は、政治折衝はいずれにせよ一度で完
結するものとは考えておらず、まず日本側か
らソウルに今つて来てもらって、政治折衝の
進展に好ましい空気を作るのが肝要であり、
それから今度は韓国側から^{ソウル}が東京に今つて
来るというふうにして進めて行くのが好まし
いと思える。

2 小坂外務大臣が韓国に来られるようになれば、必ず大歓迎されるものと信ずる。自分の方は、そうなるよう、そしてよい結果が出るようにお願立てすることに努めるから、日本側においても、その含みで事を進めるようにしていただきたい。

国会が忙しいことはわかるが、僅か2日位の期間でもはずせないというのは、韓国側として納得しがたいところである。

3 日本に来て驚いたのは、われわれの政權が来年の夏に民政移管をした後にどのような政權になるかわからないという見方から、われわれとの関係を深めることを躊躇する向きが相当多かつた点である。この考え方は、無理解も甚だしい。政權の主体性が確立する見通

しが立たないままわれわれが政權を譲るよ
うな愚を犯すことは絶対にない。トルコ等の例
に徴するまでもなく、早期民政移管というだ
けの形式主義にとらわれた結果がまた政情の
不安定を齎らすことは明らかである。われわ
れは、安心して政治権力を引き渡せるよ
うな地盤を国内に確立するため今必死の努力を
しているのである。

われわれとしては、われわれが仕事をして
いる間に日韓の正常化ができたというだけで
革命をやつた甲斐があるといえるのだという
位の意気込みで臨んでいる。日本側がこれを
十分に理解してほしい。

極秘

(参考資料)

金鐘泌韓国中央情報部長の来日

金鐘泌中央情報部長は二月三日韓国を出发、タイ、マレー、南ヴェトナム、フィリピンの諸国を親善訪問し、帰途同十九日来日、二十四日帰国した。金部長は、滞日中池田総理、小坂外相らと会談したほか、在日韓国人有力者との会見等も行なつた。

二十一日午前約一時間半にわたり行をゆれ、池田総理との会談において、金部長は、一月二十五日の杉、襄西首席代表の申合わせに従い政治折衝を開きたいこと、韓国側は朴議長以下この政治折衝に大きな希望をかけること、そのため日本から政界の大物をソウルに派遣してほしいこと、政治折衝においては、日本側から請求権の枠を示してほしいこと等を力説し

37
年

た。これに対し、池田総理は、約束どおり三月から政治折衝を始めることに異存がないと述べた上、ただ日本国内の一部にはいろいろと反対する者がいるので、やり方としてはなるべく国内世論を刺激しないよう無理のない方法をとりたく、そのためには、先ずソウルに大物が行くというのではなく、最初は東京において政治折衝を如めるのがよいのではないかと思う。また政治折衝においては請求権だけでなく漁業や法的地位もいつしよにやることにしたいと述べた。最後に、金部長は、本日池田総理の述べられたところは次のようなものであると了解してよろしいかと述べて、ゆ三月十日に政治折衝を始める。四この政治折衝は両首席代表以外の者で行なう。五この政治折衝では請求権の枠ならびにその他の問題を取りあげる。

(一) 場所は東京とする。(二) 会談を五月末までに妥結させるよう努力する。の
五点をあげ、池田総理は結構であると答えた。